



自衛隊の職種・職域

JSDF Occupational Categories

取得機会のある多彩な資格

- ◆車両関係：大型自動車運転免許、大型特殊運転免許、けん引免許、自動車整備士(1～3級)、自動車検査員(自衛隊以外の大型自動車運転には限定解除が必要)
- ◆医療関係：救急救命士、准看護師、臨床検査技師、診療放射線技師
- ◆航空関係：航空管制官、航空無線通信士、事業用操縦士 ◆船舶関係：小型船舶操縦士、潜水士
- ◆その他：危険物取扱者(乙種第4類)、ガス溶接(アーク溶接)技能者、2級ボイラー技士、電気工事士、調理師免許、パソコン検定(3・4級)、英語検定(2・3・4級)、ワープロ検定(3・4級)、情報処理(1・2級) 測量士、フォトマスター検定、映像音響処理技術者、気象予報士

LEVEL UP



災害派遣でも大活躍!

実は...ほふく前進あまりやりません!

陸上自衛隊 JAPAN GROUND SELF DEFENSE FORCE

海上自衛隊 JAPAN MARITIME SELF DEFENSE FORCE

航空自衛隊 JAPAN AIR SELF DEFENSE FORCE

普通科

地上戦闘の骨幹部隊として、多様な装備により、機動力、火力、近接戦闘に重要な役割を果たします。

オールマイティな職種

機甲科

パワーとスピードを備えた戦車や水陸両用車により、敵との戦闘で重要な役割を果たします。またオートバイを使って偵察活動も行います。

射撃

護衛艦等において、砲、ミサイルを操作し、各種目標に対する攻撃を実施します。また弾薬等の取り扱いを実施します。

水雷

護衛艦、潜水艦で魚雷等の水中武器、ソナー等の水中搜索機器を操作し、潜水艦の搜索、攻撃及び器材の整備を行います。

操縦

それぞれの部隊の航空機を運用し、防空をはじめとする各種航空作戦等の任務を遂行します。

操縦士になれるよ!

航空管制

飛行場において、離着陸する航空機を誘導する航空交通管制業務を行います。

航空管制官は国土交通省航空局員と自衛官だけ!

野戦特科

砲弾、ロケット弾、ミサイルを発射して、広範な地域を制圧したり、遠くの目標を正確に射撃します。また、観測やレーダーにより目標情報を収集します。

高射特科

ハイテク装備で航空機やミサイル等を迎撃するとともに、レーダーで広範囲にわたる空の情報活動を行います。

陸自でもパイロットになれます!

掃海機雷

掃海艦(艇)等で機雷探知機、掃海具等を操作し、機雷の処分及び機雷の調整、器材の保守整備を行います。

航海・船務

航海は、艦艇の艦橋において航海に関する業務を実施します。船務はレーダー・電波探知装置を活用し、戦術活動を実施します。

兵器管制

日本の領空を常時監視し、接近または侵入してくる航空機等を早期に発見、識別し、必要に応じて戦闘機などの誘導を行います。

気象

部隊の運用に必要な航空気象に関するデータの収集、予報などを行い、それらの情報を全国の部隊に提供しています。

気象予報士もいます

情報科

ドローンや各種センサーをもって、情報資料の収集・処理及び地図・航空写真の配布を行い各部隊の情報業務を支援します。

ドローン操縦できるよ!

航空科

ヘリコプターの操縦や整備、航空管制に携わり、部隊の空中機動、物資輸送、指揮連絡等を行い、地上部隊を支援します。

サイバー・電磁波の要

航空管制

飛行場で離着陸する航空機またはその周辺を飛行する航空機の無線・レーダー等での誘導等を業務とします。

航空管制官は国土交通省航空局員と自衛官だけ!

航空機整備

航空機の機体、エンジン及び計器並びにこれらを維持するための器材等の整備、修理、補給等に関する業務を行います。

警備

航空自衛隊の基地の警備を行い、基地内の人員、施設及び器材の防護及び警戒に関する業務を行います。

ドッグハンドラーになれます!

会計調達

予算の編成、執行計画の作成、調達要求、原価計算、契約、監督、検査等の会計調達業務を行います。

施設科

油圧ショベルやドーザーをもって、障害の構成・処理、陣地の構築、渡河や復旧工事等の作業を行います。国外の復興支援や技術支援も積極的に行っています。

システム通信科

野外や駐屯地の通信確保、電子戦の主要な部門を担当するとともに、写真・映像の撮影処理並びに通信器材等の整備を行います。また、サイバー分野でも活躍します。

経理・補給

給与・旅費等の計算、物品等の調達、部隊の任務をするために必要な装備等を準備し、供給する業務を実施します。

施設

国有財産についての管理、運用、施設器材・施設車両を用いての建設、道路等の工事及び器材の設備を行います。

施設

施設の取得、建設、管理、処分等に関する管理などの業務を行います。

輸送補給

航空機又は車両による人員・貨物の輸送に関する業務、物品の需給統制、在庫管理、取得・保管等の業務を行います。

武器科

火器、車両、誘導武器、弾薬の補給・整備、不発弾の処理等を行います。

車や武器の整備もするよ

需品科

糧食、燃料、需品器材や被服の補給・整備及び回収、給水・入浴・洗濯等を行います。

通信

陸上基地、艦艇及び航空機等の通信、暗号の作成及び翻訳、通信器材・暗号器材及び関連器材の操作整備等の業務とします。

機関

エンジン(ガスタービン、ディーゼル等)発電機等の運転、整備及び火災、浸水対処等を業務とします。

高射(運用/整備)

侵襲してくる航空機や弾道ミサイルを撃破するため、パトリオットミサイルシステム等の操作及び機材の整備を行います。

航空機整備

航空機、航空機用エンジン、航空機搭載の火器管制装置、武器、弾薬及び車両の整備に関する業務を行います。

戦闘機の整備士になれます!

輸送科

大型トラックで隊員や装備品、補給品を輸送します。また、輸送便の計画、ターミナル業務、道路交通規制も行います。

船に乗って航海もするよ!

会計科

毎月の給与の支払いや部隊が必要とする物品の購入、お金の管理・記録等の経理の役割を担う部門です。

潜水

浅海域における簡単な水中作業や機雷・不発弾処理等の爆発物の搜索・処分、深海域における潜水艦の乗員の救助に従事します。

潜水士の資格取れます。

飛行

P-1/P-3C哨戒機、US-2救難飛行艇、SH-60J/K艦載ヘリコプター等の搭乗員として飛行任務を実施します。

衛生

医療事務管理、衛生管理、衛生運用及び医療施設管理に関する業務を行います。

最先端を行く職場!!

情報通信

情報通信システムの運用・整備等に関する業務、サイバー・電磁波・宇宙領域に関連する業務又はその支援等を行います。

衛生科

患者の治療や医療施設への後送、隊員の健康管理、防疫の技術援助及び衛生資材の補給整備等を行います。

医療関係の資格取れます!

警務科

犯罪の捜査、警護、道路交通統制、犯罪の予防等、部内の秩序維持に寄与します。

自衛隊の警察!

情報

情報処理の収集、処理及び情報の配布、秘密保全等を業務とします。

衛生

病院における医療及び医務室における健康管理や身体検査を実施するとともに、潜水に関する調査・研究等を業務とします。

法務

損害賠償業務や民事裁判等の訴訟業務を行うほか、作戦における法制面の業務を行います。

宇宙

宇宙領域専門部隊で、宇宙空間の安定利用のため、宇宙状況監視などを行います。

化学科

化学攻撃の対処の専門家、汚染された地域の検知や汚染された人員や装備品などの除染を行います。また、化学器材の研究や補給も行います。

音楽科

自衛隊の式典や自衛隊以外のイベントでの音楽演奏、災害派遣での慰問演奏を行い、音楽により国防に寄与します。

自衛隊にも"歌姫"がいます!

気象・海洋

気象・海洋観測、天気図類の作成、気象・海洋関係の情報伝達に関する業務を行います。

給養

創意工夫された食事を通じて、隊員の士気を高揚する調理業務を行います。

おいしいカレーも作ってます。

音楽

広報、宣伝及び儀式等に関する音楽演奏の指揮、指導を行います。

救難

航空救難や災害派遣等に出動し、救助者の搜索、救助などを行います。



自衛官の道しるべ

コース

特徴

対象年齢

2士

1士

士長

3曹

2曹

1曹

曹長

3尉

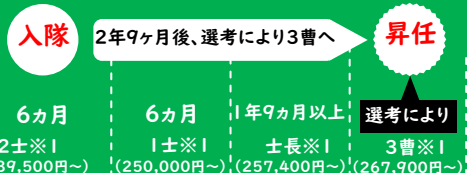
2尉～



Course4 一般曹候補生

部隊の中核である曹を養成するコース。陸・海・空の各部隊で経験を積み、入隊後2年9ヵ月以降、選考により曹へと昇任します。3曹昇任後4年(大学卒は1年)で幹部への受験資格が得られます。

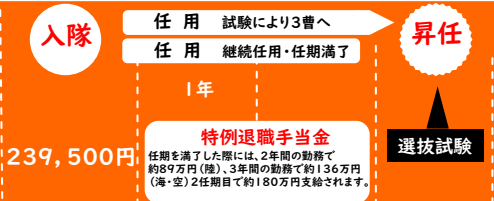
18歳以上
33歳未満



Course5 2等陸・海・空士 (任期制自衛官)

陸は2年、海・空は3年の任期制隊員コース。入隊と同時に2等陸・海・空士に任命されます。任期終了後は民間企業へ就職したり継続任用も可能です。選抜試験に合格すれば曹や幹部へ進むこともできます。

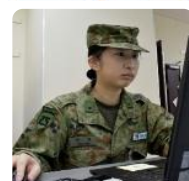
18歳以上
33歳未満



Course1 一般幹部候補生

幹部自衛官を養成するコース。陸・海・空曹長に任命され、各幹部候補生学校に入校し、約1年の課程を経て、3尉(院卒者試験合格者は2尉)に昇任します。

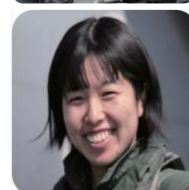
【基準】
22歳以上
26歳未満
【その他】
大卒20歳以上
院卒20～28歳未満



Course2 幹部候補曹

幹部になることを前提としたコース。幹部候補曹として入隊すると、段階的な教育等によって、着実にスキルを高め、入隊から5年で幹部自衛官になります。

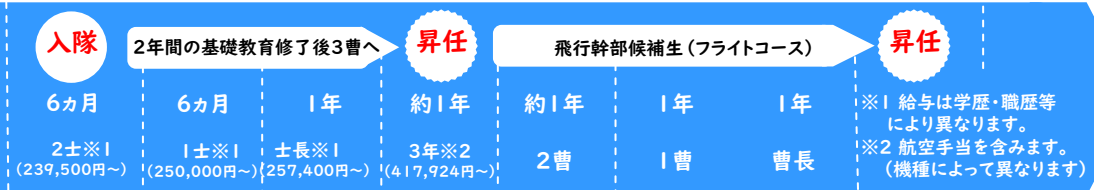
【基準】
20歳以上
33歳未満



Course3 航空学生

海上・航空自衛隊のパイロットを目指す幹部自衛官養成コース。入隊後約3～4年で国家資格(事業用操縦士)が取得できます。飛行幹部候補生課程修了後、3尉に任官します。

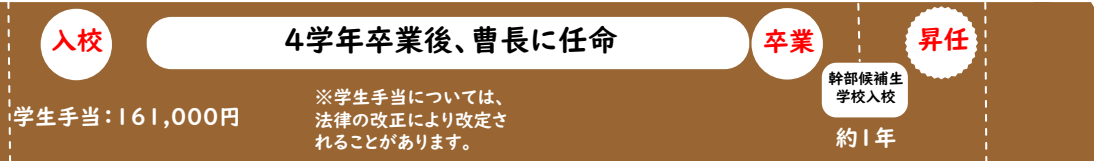
18歳以上
24歳未満



Course6 防衛大学校 学生

幹部自衛官を養成する学校。卒業時「学士」の学位が授与されます。卒業と同時に曹長に任命され、陸・海・空の各幹部候補生学校(約1年)を卒業後、幹部自衛官(3尉)となります。

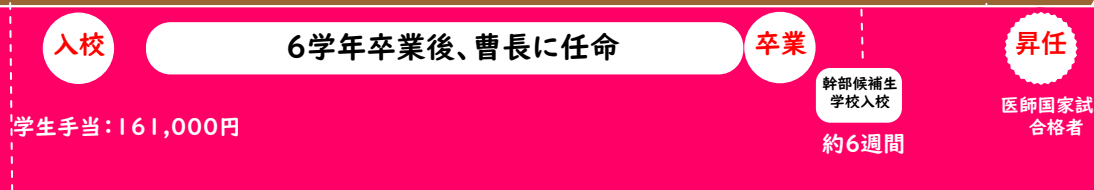
18歳以上
21歳未満



Course7 防衛医科大学校 医学科学生

医師である幹部自衛官を養成する学校。卒業と同時に曹長に任命され、幹部候補生学校(約6週間)で教育を受け、医師国家試験に合格した者に医師免許が与えられ、幹部自衛官(2尉)となります。(卒業後9年未満で離職する場合は償還金が必要)

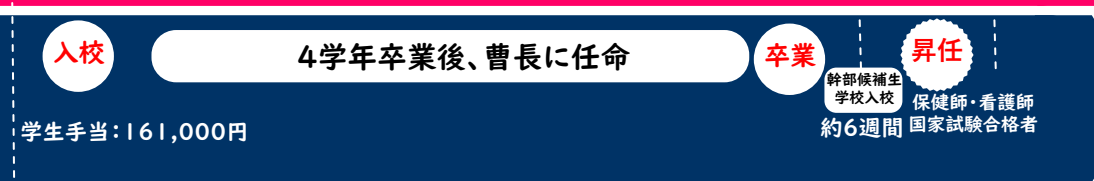
18歳以上
21歳未満



Course8 防衛医科大学校 看護学科学生

保健師・看護師である幹部自衛官を養成する学校。卒業と同時に曹長に任命され、幹部候補生学校(約6週間)で教育を受け、幹部自衛官(3尉)となります。(卒業後6年未満で離職する場合は償還金が必要)

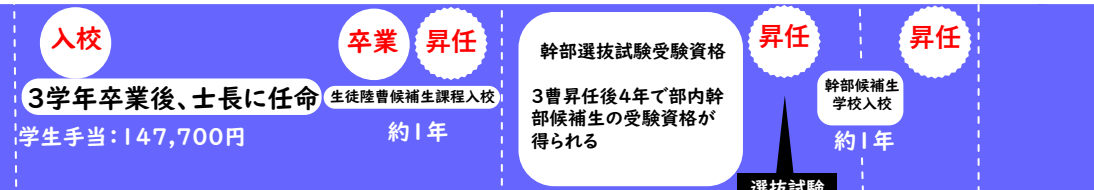
18歳以上
21歳未満



Course9 陸上自衛隊 高等工科学校 生徒

将来の技術的スペシャリストな陸上自衛官を養成する学校。提携する通信制高等学校の卒業資格を取得することもできます。卒業後、士長に任官。約1年後には3曹に昇任します。
※令和10年度から陸・海・空共同、男女共学の学校になります。

15歳以上
17歳未満



Course10 予備自衛官補 (一般・技能)

身分: 非常勤の特別職国家公務員
手当: 教育訓練招集手当: 月額9,300円
訓練日数: 【一般】3年以内に50日
【技能】2年以内に10日
指定された教育訓練を修了した者は、修了の翌日に陸上予備自衛官として任用されます。

【一般】
18歳以上
52歳未満

【技能】
18歳以上
55歳未満
(要国家資格等)

Course10 → Course11 予備自衛官

陸上予備自衛官としての任用
任期: 3年
任期修了後、引き続き希望する者は選考により3年を任期として継続任用されます。
予備自衛官手当: 月額13,100円
訓練招集手当: 月額11,600円

注: この内容はR8年4月時点のものです。給与・手当は法改正により改定される場合があります。